

※細かい喘ぎ、SEについては記載を省略



【ジャケット】

語り

【台本】

／／トラック 〇〇

「あなたはこの学校の先生です。」

「女の子の身体からだにいじめられるのが大好きなあなたは、

今日も体育倉庫たいいくそうこに生徒を呼び出しました。」

「今日あなたが呼び出したのは、現役げんえきの爆乳アイドル、

「綾瀬あやせみく」。幼おさない顔に似合わない大きなおっぱいで、

あなたを弄もてあそびます。」

「ところが、ある人物が体育倉庫の扉を開きます。」

「それは褐色の肌くに、きれいな金髪、

「綾瀬あやせみく」に並ぶ爆乳のギャル「姫崎ひめざきゆうな」でした。」

「彼女もまた、あなたのお気に入りお気に入りの生徒の一人です。」

「これは突然出会った二人の爆乳が、

プライドをかけて潰つぶし合い、逝あかせ合う。」

「そんなお話です。」

あなたは体育倉庫のマットに仰向けで寝ていて、

みくは胸の上にまたがって座っている。

(みく…正面10cm)

みく「せーんせい♡おしごと、お疲れ様です。

みくの105センチKカップのおっぱいで、

今日も、ちっそくすんぜん窒息寸前まで追い込んであげますね♡」

(みく…右耳5cm)

みく「ほらあ……ぎゅっぎゅっ！ んふふっ……

鼻も口もJKおっぱいで完全に支配されちゃって……

こんなのが好きなんで、ほんとのへんたい変態さんですね♡」

みく「ああん！ もう、せんせーまだお堕ちちゃだめですよ

こうやってえ、抱きしめれば……もっと苦しいですから♡」

体育倉庫のドアを開けて、ゆうなが入ってくる

(ゆうな…左耳30cm)

ゆうな「おい、先生。ここか？」

///SEガラガラガラ(ドアが開く音)

(ゆうな…左耳10cm、みく…右耳10cm)

ゆうな「お、いたいた。なあ先生、

みく

今日は私の乳で溺れる約束だろ？……って、誰だよその女

「もー、先生誰です？ この人」

ゆうな

「おい。こっちが聞いてんだけど？」

みく

「はあ…… sense。な〜んかうるさい人が来たから、

ちょっと追いついてくるね」

ゆうな

「なに？ 調子乗ってる？」

みくとゆうながおっぱいがぶつかり合う距離で睨み合う。

(ゆうな..左耳5cm、みく..右耳5cm)

みく

「せんせいは〜おっぱいでえ

死ぬほど苦しいプレイをするのが、だ〜いすきな」

ゆうな

「だったらさ、お前の乳じゃ物足りないから。帰りなよ」

←※みく..少し怒ってるように

みく

「あなたの小さいおっぱいで、先生が満足できるかしら？」

ゆうな

「は？ 105センチKカップの乳がみえないんだ？」

みく

「あら？ 私と同じサイズなんですね。」

てっきり口だけのおばかさんなのかと」

ゆうな

「なに？ 喧嘩売ってんの？」

みく

「ええ、気づきました？ 買ってくれないんですかあ？」

ゆうな

27「あは！ いい度胸^{どきょう}じゃん、潰^{つぶ}してやるよ。」

ゆうな

28「おい、先生。聞いてただろ？ そこどいて」

みく

29「せんせーい。この人、ぶっ潰^{つぶ}すから。そばで見ててね♡」

ゆうな

30「こいつが私の乳^{ちち}で窒息^{ちっそく}して、泡^{あわ}ふいてるとこ見せてやるよ」

みく

31「ふふ……それは楽しみですねえ」

ゆうな

32「先生、女の喧嘩^{けんか}に手え出すなよ。終わったら、

パイずりでも手こきでも、なんでもしてやるからさ……

止めたら、マジで許さねえからな」

みく

33「そうですよ先生♡ どっちかがあ♡ 立てなくなるまで

やるんですから」

みく

34「あ！ そうだ。」

すぐに終わっちゃ先生もつまらないでしょ？

こんなルールはどうです？」

みく

35「『1時間潰^{つぶ}し合^あって、降参^{こうさん}した回数が多い方が負け』」

ゆうな

36「おいおい、いいのかよ。」

みく

1時間もお前の命乞^{いのちがい}いを聞くことになるぜ？」

ゆうな

37「あなたのむせび泣^{なみ}く声^{こゑ}、の間違^{まちが}いじゃないですか？」

38「あん？」

みく

「ねえ、口喧嘩くちげんかしに来たんですか？」

ゆうな

「ふん。さつさとやろうぜ。せんせー！

1時間計はかっててくれよ」

みく

「んふふ♡ どうせなら、裸はだかでやりましょつか

その方が決闘けつとうっぽくていいですよね♡」

／＼トラック〇〇終

///トラック01

裸になったみくとゆうなが、マット中央で睨み合う。

みく 「あら……もう全裸になっちゃって……興奮しちゃった？」

ゆうな 「お前こそ、すぐ裸になったじゃん。しかも乳首ビンビン。

なに張り切ってんだよ」

みく 「ふふ……生意気なギャルを潰せるって思うと、

興奮しちゃった♡」

ゆうな 「私はいつでもいいぜ。先生、合図くれ」

みく 「はーい。いつでもいいよ」

ゆうな 「ぶっつぶしてやる……」

みく 「こっちのセリフ♡」

///SEパン！（手を叩く音）

がっちり手を組み合ったあと、

体を抱き締めおっぱいを密着させ潰し合う

（ゆうな…左耳3cm、みく…右耳3cm）

48 「ふっ……っ！ んん！ ふう！ ふう！ この！

49 「はあ！ はあ！ んんっ！ んうっ！」

50 「ふうふう……覚悟しろよ。言った通り、お前の乳、

潰^{つぶ}してやる、よ!!」

みく 51 「んあああ! ぐっ! んうっ! んんっ!

ゆうな 52 「あはは! 自慢^{じまん}の乳^{ちち}を潰^{つぶ}される気分はどうだよ!」

みく 53 「くっ……べつにいい! 負けてませんけ、ど!」

ゆうな 54 「んおおお! ふうう! ふうう! その程度なんだ?」

←※みく・ゆうな…息苦しそうに

みく 55 「そっちこそ……もっと強く締め^したらどうです?

はあ! はあ! 苦しくてできないんだ?」

ゆうな 56 「舐^なめんな…… ふう! ふう! ふう!

んんんんんんんん! はあ……はあ……はあ……」

みく 57 「はあ! はあ! はあ! ふんんんんんんん!

はあ……はあ……はあ……」

ゆうな 58 「ふんん! ふうっ! ふうっ! んおおおおお!

みく 59 「っんあ!? くっ! んっうううう! きゃあ!」

///SE^せたん! (倒れる音)

みくを下敷きにしてゆうなが体ごとマットに倒れ込む。

その後すぐにゆうなが爆乳をみくの顔に押し当てて、

窒息攻撃をしかける。

ゆうな

みく

んむうううううううううううううううう！」

ゆうな

私のKカップの乳が邪魔で話せねえか!？」

← ※ ゆうな.. 勝ち誇って挑発するように

みく

63 「ぶうう！　ぶうう！　んんんっ！」

ゆうな

64 「あはは！　くやしい？　くやしいよね？」

勝てると思ってた乳に負けてるんだから」

みく

「ぶぐうー！ むぐぐつ……んぶううううう！」

ゆうな

「ほら、先生見てみろよ。」

こいつが、私の乳で失神しっしんするところ♡
ぶざまだろ?」

みく

67 「ん
ん
ん
ー
ー
ー
ー
ツ
！

ん
ん
ん
ツ
！」

ん
ん
ん
ッ！

ん
ん
ん
ッ！

ん
ぐううううううううう」

ゆうな

「あゝ気持ちいい。乳ちちで人を潰すのって……最高♡」

みく

99 「んんんっ……んんんっ！ んんんんんんッ！」

ゆうな

70 「ああっ！ 髪^{かみ}っ……引っ張るなあ！ んんっ！

いってええ……ち、ちぎれ……んあああ！」

//SE^{じやー}！（ゆうながマットに倒される音）

みくとゆうなの位置が逆転。みくのおっぱいで

ゆうなの口が塞がれる。

（ゆうな…背後0cm、みく…正面0cm）

みく

71 「ぷはっ！ はあ！ はあ！ ふっ！ 女同士の潰し合いで

髪^{かみ}を引っ張るな、なんて、甘^{あま}えてますよね？ はあはあ」

ゆうな

72 「このやろ……うっ……んんっ！ んんんんんっ！」

みく

73 「言いたいことがあるなら……

大きい声でいってくださいね。 ふふ……」

←※ゆうな…おっぱいの隙間から必死に呼吸するように

←※みく…勝ち誇って挑発するように

ゆうな

74 「んんーッ！ んんーッ！ ぜ、ぜったい……

んんー……返^{かえ}すう…… んんんーッ！」

みく

75 「あは♡ おっぱいに潰された虫が何か言ってますね？」

ゆうな

76 「んんー……ッ！」

みく 「空気くうきが吸えなくて死にそう？」

みく 「降参こうさんするなら、みくのおっぱいのこ・こ、
トントンってタップしてくださいね」

ゆうな 「んんーッ！ する……もんか……んんーッ！」

みく 「ふふ……私はいいんですよ。」

このままあなたが窒息ちっそくしても♡」

ゆうな 「んんーッ！」

←ゆうな…○の中は心の声のため、しっかり発音してOK

ゆうな (くそおっ！ くそおっ！ 息が……息が……)

みく 「せんせーい♡ もうすぐ逝く、かも♡」

//SE パンパンパンパン！ (みくの背中をタップする音)

みく 「聞こえなかったんでちゆか？ 背中ダメでーす。

タップはおっぱいだけ認めみとます」

ゆうな 「んんーッ！」

ゆうな (くっそお！ くやしい！ ぐやじい！)

みく 「ほらぁ♡ みくのおっぱいに、『やめてください』って

タップして伝えてね♡」

ゆうな (……ぐっ！ もう……むり……!!)

//SE パンパンパンパン！ (みくの胸をタップする音)

ゆうなの口からおっぱいが離れ、ゆうなは息を吸う。

(ゆうな…正面0 c m、みく…右耳0 c m)

←※ゆうな…水から顔をあげたみたいに苦しそうに

ゆうな

88「ぷはああっ！ はああっ！ はああっ！ はああっ！

けほっ！ けほっ！ はあ！ はあ！ おえっ！」

みく

86「はい。よくできました♡ これで私の1勝いっしょうです」

ゆうな

90「はああ！ はあ！ はあ！ はあ！」

みく

92「あれだけ粋こゝろがつてたくせに、

みくのおっぱいに降参こうさんしちゃうんだ」

みく

98「ぎー♡」

///トラック 10 終

///トラック 02

立ち上がるゆうなとみく。髪を引っ張り合って振り回す。

(ゆうな..左耳10cm、みく..右耳10cm)

94「おっぱいが唾液でぐちゃぐちゃ♡
だえき

よっぽど苦しかったんですね」

95「ふう……ふう……1勝したくらいで勝ち誇るなよ」
いっしょう

96「あはは……何度でも勝ちますよ？ みくのほうが、

強いんで」

97「勝手に言ってるよ、このっ！」

(ゆうな..左耳5cm、みく..右耳5cm)

98「いいいっ！ 髪の毛……痛むでしよっ！」
いた

99「くっ！ お前が先に！ いぎっ！ 掴んできたくせに」
つか

100「んあああっ！ いったああ！ はなして！」

101「ああ？ 我慢できないんだ？ 喧嘩したことないだろ？
がまん
いぐっ！」

102「あなただって、つぶふ……涙目になってきてますよ」
なみだめ

103「はあ？ じゃあ本気でやってやるよ。おらあ！」
ほんき

104「あああああ！ いったあああああ！」

ひっぱらないでええええええ！」

//SE ばた！（倒れる音）

みくがマットに引きずり倒される。

その上からゆうなが襲う

（ゆうな…左耳 0 c m、みく…右耳 0 c m）

105 「んはあっ！ この、ばかぢから！」

106 「はあ！ はあ！ おい、覚悟しろよ。
かくご

たっぷり仕返ししてやるよ」
しかえ

みくがうつ伏せになって逃げようとしたところを、

ゆうなが背中に取りかかり、手マンで攻める

（ゆうな…左耳 0 c m、みく…正面 0 c m）

←※みく…急に甘い声をあげる

107 「ひっ！ あうううっ！」

108 「へっ！ また乳で攻めると思った？ ばーか♡」
ちち

109 「おおっ！ んおおっ！ おまんこお…♡ いぐっ！」

110 「喧嘩相手に背中見せたら、こうなるよな？」
けんかあいて

111 「や…やめっ！ いぐっ！ いぐうっ！」

112 「これは『女の決闘』だろ？ 手マンぐらい当然じゃん。
けつとう

それよりおまんこの心配しろよ？

ヒクヒクさせちゃって、そんなに私の指がいいんだ？♡

二二「んんのお……おおお……んおおお……おおお……」

←※ゆうな…以後激しく挑発するイメージ

二二「あゝん、めっちゃおまんこ吸い付く♡ すっご♡

いやらしい音おともたてちゃってさあ……逝きたいんだろ？」

二二「ああっ……！ ああっ……！ いぐもんかつ！

あなたのっ！ おおっ！ ゆびなんかっ！

気持ちよくないわよ……はあ……はあ……くうううう！

二二「ふゝん。おまんこは正直しょうじきだけどなあ。よいしょっと」

二二「んうううっ！」

ゆうなはみくの背中にぴったり張り付き、手マンをしたり

おっぱいを揉んで攻める。

(ゆうな…左耳0cm、みく…正面0cm ※変更なし)

二二「あははっ♡ 上からみっちり押さえつけられて、

動けないねえ……おまんこ攻め放題ほうだい♡

早くギブした方がいいと思うけどなあ？」

二二「だれがっ……あなたなんかにい！ んほおおおお！」

ゆうな

120 「ああ、ここグリグリするのが好きなんだ♡」

みく

121 「ほおおお！ んうううっ！ やめでえ！

いぐっ！ いぐっ！ 逝っちゃう!!」

ゆうな

122 「あは！ 効いてる？ 尻しりもぷりぷりさせてかわいいねえ」

ゆうな

123 「でもギブしないなら、徹底的てっていてきにやるから、さ！」

みく

124 「んおおお！ おおおお！

やめてえええええ！ いぐうーうッ！」

ゆうな

125 「えへへ！ ほーら、乳しぼり、乳しぼり！

ははっ！ 乳首ちくびも弱いのかよマゾ女！」

みく

126 「はああっ！ はああっ！ ちくびとおまんこっ！

両方はむりい！ あああっ！ むりいむりむり！」

ゆうな

127 「感度かんどばつぐんじゃん♡ もう限界寸前げんかいすんぜんのくせに……

まだ頑張がんばるんだあ……♡」

みく

128 「あああ……♡ あああ……♡ みくは……

あなたなんか……ふうふう♡ あなたになんか、

屈くしないい……♡ はううううううう♡」

ゆうな

129 「あはは♡ せんせー。おまんこよく見とけよ。

し・お・ふ・き♡ 目の前で見せてやるよ」

みく

←※みく…絶頂に向かって段々激しく

¹³⁰「らめえええ！　みないでえええ！　んっ！　んおっ！

逝くっ！　逝くっ！　いぐいぐいぐ！　もう……むりい！

これいじょう……！　おおっ！　おおおっ！

ぎぶっ！　ぎぶっ！　こうさんしまずう！　こうさ……ッ

んんんっ♡　んあーー……♡（絶頂）

///ぶじゅううう（潮を噴き出す音）

（ゆうな…左耳0 c m、みく…右耳0 c m）

ゆうな

¹³¹「ふうう……ふう……あは！　気持ちよく逝っちゃったね」

みく

¹³²「んへえ……あ……あ……あう……♡」

ゆうな

¹³³「そんなに私の指がよかったの？」

←※ゆうな…みくを怒らせるように

¹³⁴「雑魚まんこ♡」

///トラック 02 終

///トラック 03

(ゆうな..左耳5 c m、みく..右耳3 0 c m)

ゆうな

¹³⁵「はい。私も1勝！ せんせー、ご褒美のおちんぽ頂戴♡
ほうび ちようだい

いいでしょ？ 私も欲しくなっちゃった♡」

みく

¹³⁶「何勘ちがいしてるの？ 同点になっただけですよ」
なにかん どうてん

ゆうな

¹³⁷「ああ、起きてたんだ、雑魚まんこ」

みく

¹³⁸「潰し合い、まだ終わってないですもんね」

ゆうな

¹³⁹「まあ、そうだよな。じゃあ次はさあ、

女らしく……『ここ』で勝負しようぜ。」

ゆうなは股を開き、おまんこを指で開いて見せる。

それを見てみくもゆうなに近づき、股間を合わせる。

(ゆうな..左耳5 c m、みく..右耳3 0 ↓5 c m 徐々に

近づいていく感じで)

みく

¹⁴⁰「ふふ……貝合わせ……ですか？ いいですよ」
かいあ

ゆうな

¹⁴¹「じゃあほら……来いよ」

みく

¹⁴²「自信満々ですね」
じしんまんまん

ゆうな

¹⁴³「負けたことねえからなあ」

(ゆうな..左耳0 c m、みく..右耳0 c m)

みく
144 「うふ……お手並み拝見しますね。 んんっ！

あら、ぴったり合体がったいしましたね。いい勝負になりそう」

ゆうな
145 「んんっ！ 逝きそうになっても、逃げるなよ」

みく
146 「そっちこそ、おまんこ、離さないでくださいね」

ゆうな
147 「せーの」

みく
148 「せーの」

ゆうな
149 「はあああああっ！ ああんっ！ ああっ！ ああっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

ああっ！ ああっ！ ふーーーーーっ！」

みく
150 「はうっ！ うっ！ んんっ！ んんっ！ んんっ！

んあっ！ んあっ！ んあっ！ んああっ！

あうーーーーーッ！」

ゆうな
151 「ああんっ！ ああんっ！ ああんっ！」

みく
152 「腰のうごきっ！ はううっ！ 遅くなってんじゃない？」

ゆうな
153 「はああっ！ はああっ！ お前こそ！ 息上がってんぞ？

んおっ！ んおっ！ あんっ！ もう終わりかよ」

みく
154 「んあっ！ んああっ！ 強つよがってるけど……

はあ！ はあ！ これなら、どうかしら！」

ゆうな

¹⁵⁵「はうううう！ ああんっ！ んっ！ んっ！
くあああああああああっ！」

みく

¹⁵⁶「みくのぶつとい太ももで、固定してるから！ はあはあ！
逃げられないでしょ！」

←※ゆうな…女性らしく

ゆうな

¹⁵⁷「だれが……にげるかあ……！
おおおおっ！ おおおおっ！ 逝くうう……逝くうう！」

みく

¹⁵⁸「逝け逝けえ！ んあっ！ んあっ！ 逝つけええええ！」

ゆうな

¹⁵⁹「ああんっ！ ああんっ！ おまんこ……熱い！
はあ！ はあ！ いっ！ んあああああっ！

気持ちよすぎて……あたまが……はあ！ はあ！」

みく

¹⁶⁰「みくの……おまんこのほうがっ！ んあっ！ んあっ！
あはあんっ！ 強いんだからあ！」

ゆうな

¹⁶¹「げんかいのくせに……んおっ！ んおっ！
お前も逝く寸前のくせにい！ んおおおおおおお！

あああ……あああ……あたまが……とける……」

みく

¹⁶²「勝って！ みくのおまんこおおお！ おまんこ勝負で、
まけないでえ……」

ゆうな

「わたしのおまんこが負けるかぁ……逝くのは……
おまえだ……け……！ はううッ♡」

←※みく…どんどんヒートアップするイメージで

みく

「はあはあはあ！ いぐ！ いぐ！ いぐいぐいぐ！

んああっ♡ また逝っちゃう♡ 逝きたくないのに！

はああ……はあ……はあ……♡ ああああ！ あああ！

だめ、だめだめ♡ くるくるくるう……おまんこが、

耐^たえれないイ……！ はあ……はあ……♡

いっくう！ いくいくいく！ 逝っちゃう！

逝っちゃうーッ！ あああーッ！ (絶頂)

←※ゆうな…どんどんヒートアップするイメージで

ゆうな

「おおおっ！ 逝くう！ いっくううーッ！

おまんこお……きもちいい……！ あああ……♡

まけるかぁ……まけるかぁ……おまえには……

おまえだけは……♡ んおおっ♡ んほおお♡

やばい……やばい！ いくいくいくいく！

いっくうううーッ……！ (絶頂)

←※ゆうな・みく…放心しているように

みく

166 「あう……あふ……ん……あ……♡」

ゆうな

167 「あひい……♡ あひい……♡ ああ……♡」

同時絶頂のあと、先にゆうなが動きおっぱいをみくの顔に

押し当てる。

(ゆうな…正面0 c m、みく…背後0 c m)

ゆうな

168 「ん、くっ……はあはあはあ……うごけないほうが……

悪いんだからな……たっぷり喰^くらえよ♡」

←※みく…以後苦しそうに。○の中は心の声のため、

しっかり発音してOK

みく

169 「むぐう……ッ！」

ゆうな

170 「はあはあ……乳首^{ちくび}噛^かまれようが、引つかかれようが……

降参するまで……離す気は無いからな」

みく

171 「んんっ……ッ！」

172 (ぐ、るじい……じ……ぬ……)

ゆうな

173 「ギブするならさあ……乳首^{ちくび}舐^なめなよ。そうしたら離す」

みく

174 「んぐうううう！ んんぐうううううう！

い、いや……！ んむううううううううううっ！」

ゆうな

175 「じゃあ、乳の下で窒息^{ちっそく}するんだな。あはは！

ほらほら〜いつまでもつかなあ?」

みく¹⁷⁶「んんっーっーッ! んんんっ! ぶじゅ! んじゅ」

ゆうな¹⁷⁷「おいおい、泣くほど苦しいなら、さっさと舐めろよ

『ゆうな様のお乳にはかないません。許してください』

ってさ!」

ゆうなのおっぱい攻めに、みくは泣きながら乳首を舐めて

降参の意思を示す。

(ゆうな..左耳0cm、みく..正面0cm)

みく¹⁷⁸「んんんんん! ぐじゅ! んつぶ! ぐぶ!」

みく¹⁷⁸(ぐやじい...ぐやじい...ちくびなんか!

舐めたくない...舐めたくないけど...しんじやう...)

ゆうな¹⁷⁹「ほらあ...舐めろって、犬みたいにさ」

←※みく..激しくキスする音

みく¹⁸⁰「んちゅっ! むちゅっ! はあっ! はあっ! ちゅっ!」

ゆうな¹⁸¹「あっはあん♡ なんだよ、めっちゃ舐めるじゃん。

だっさ♡」

←※みく..すすり泣きながら

みく¹⁸²「んじゅっ...ちゅぱ...はあはあはあっ! ひっぐ!

ゆうな

ひっぐ！」

「あははあ！ 乳に命乞いするって、どんな気持ち？♡
ふう……借りは返したぜ」

///トラック 03 終

///トラック 04

みくは泣きながらぐったり横っている。

(ゆうな…左耳5cm、みく…右耳30cm)

¹⁸⁴「はーい、私の2れんしゅ！先生、みてくれた？」

←※みく…泣きながら苦しむ

¹⁸⁵「ひっぐ！ うえっぐ！ おえ！ けほっ！ けほっ！

はあはあはあはあはあはあ！ うえっぐ！ ひぐっ！」

¹⁸⁶「あら？ 戦意喪失しちゃった？
せんいそうしつ

私の乳……でかすぎたのかなあ？♡」

¹⁸⁷「ぜったい……ッ、やり返します……」

まだ、喧嘩は……これからです……」

みくの顔にゆうなは大きな尻を落とし、

呼吸を封じる。

(ゆうな…正面30cm、みく…背後0cm)

¹⁸⁸「そうこなくっちゃ、な！」

←※みく…苦しそうに

¹⁸⁹「ぶぐうっ！ ぶっ！ ぶっ！」

¹⁹⁰「あははあ！ 巨尻固め」
きょじりがた

みく

本当は先生に最初に食らわしたかったけど、まあいいや」

191 「ふうう……！　ぶぶ……！　ぐ……！　ぐじゅ……！」

ゆうな

192 「わたしってさあ！　お尻もでっかいんだぜ……

ぺちゃんこにしてやるよ……ほら、豚みたいな声だしな」

みく

193 「ふうう！　ぶぶ！　ぶぶ！　ぶぶ！」

←※ゆうな…急にお尻を攻められて驚くように

ゆうな

194 「ほら……今度はお尻を舐めたら許してやるよ、あはは！

ふっ……!?　ん、おーーーーーッ！」

ゆうなの首に、振り上げたみくの足が絡まり、ゆうなは

前方に引っ張られた。みくは呼吸ができるようになる。

シックスナインの態勢でお互いがアナルを攻めあう。

（ゆうな…左耳ささやき、みく…右耳ささやき）

みく

195 「ぷはあああっ！　ぷはあああっ！

汚いお尻近づけるなあ！」

ゆうな

196 「お尻のあなあっ！　ゆび……！　入らないってえええ！

おおおおおおお！」

みく

197 「はあ！　はあ！　はあ！　うふ……アナル弱いのに、

お尻で攻めてきたんだ。見た目通りのバカですね！」

ゆうな

198 「があっ！ 足が……く……そっ！ んぐうーっ！」

みく

199 「はあはあはあっ！ ほら、シックスナインで

お尻の壊し合いでもしましょうか！」

←※ゆうな・みく…快楽に悶えるイメージ

ゆうな

200 「んごおおおーっ！ おおお！ おおお！

負けねぞ……！ 我慢比べならあ……！」

みく

201 「んああああああ！ ふうううう！ ふううううう！

んあああーっ！ いれすぎいい……

おほおおおお……！ はやく、降参してえ……！」

←※ゆうな・みく…【おおおおおーっ！】のように

横線がある箇所はお尻を叩かれているので、他より強く

発音するイメージ

ゆうな

202 「おおおおおーっ！ おおおッ！ ごわれるッ！

おじりっ！ ごわれぢやううう！」

みく

202 「おおおお！ おおおお！ おおおおお！

壊し合いでしょ！ どっちか壊れるのよお！ おおお！

オオオ……！」

ゆうな

203 「ちつくしよお……しりが……おかしくなるってえ！

「おほおおおおーッ！ おおおッ！ おおおッ！」

←※みく…以後泣きながら

みく 204 「おおおおッ！ おおおおッ！ ごわじてやるッ！

ぜったい降参なんかしないからっ！ おおおッ！」

←※ゆうな…以後泣きながら

ゆうな 205 「おおおお！ んおおおーッ！ ギブしろお……！

効いてるくせに！ くそお……！ おしりが……！

あああん！ ごわれるう……！ あああ！ ああああ！」

みく 206 「負けない……負けない……おおおおあ！

降参するまで、お尻の穴……ああああ！

ずっと、グリグリ……してやるうう……！」

ゆうな 207 「おおおおーッ……ッ!! ギぶ！ ギブ！

ギブアップウ！ しりが壊れるッ！ 負けでいいから！

おおおッ！ おおおッ！ おおッ！ やめでええ……

負けまじだあ！ おじりのいじり合いは……おおおッ！

負けで……おおおッ！ いいからあ！ ゆび……

抜いてええ……！」

みく 208 「はあはあはあ……ふん！」

みくは態勢を入れ替えて、ゆうなの上になる。そのまま

おまんこで口を塞いで窒息攻撃をする。

(ゆうな…背後0cm、みく…正面20cm)

←※ゆうな…以後苦しそうに。○の中は心の声のため、

しっかり発音してOK

209 「ぶぐうう！」

ゆうな
みく
210 「おまんこ固^{がた}め♡ はあはあ！

お尻を舐めさせようとしたんですから、

これくらいいいですよね？」

211 「うううっ！ うええっ！ んぶうううううう！」

ゆうな
みく
212 「もちろん、みくのおまんこ♡ 舐めるまで解放^{かいほう}しません」

ゆうな
213 「あぶっ！ んぶっ！ ぐぶっ！ んんんっ！」

ゆうな
214 (いやだ…いやあ…舐めたくないッ！)

みく
215 「舐めないなら…みくのおまんこで…

窒息させるだけです……！

ふふ……♡ 大丈夫ですよ、綺麗^{きれい}にしていますから♡」

ゆうな
216 「ぐうううううっ！

ぶぐじゅ！ ぶぐじゅ！ ぶぐじゅ！」

//SE パンパンパン！ パンパンパンパン！（みくのお尻を叩く音）

←※ゆうな…泣きながら悔しがるように

ゆうな 217 「ぷはああああ！ ひい！ ひい！ ひい！

んあああああつ！ ひっぐ！ ひっぐ！ ぐぞお！

ぐぞおお〜！」

//SE バンバン！（ゆうなが悔しがってマットを叩く音）

みくがおまんこでの圧迫をやめ、起き上がる。

（ゆうな…左耳20cm、みく…右耳20cm）

みく 218 「はあはあはあはあ……はあはあはあ……

これで2対2……」

ゆうな 219 「……あああ……あああ……けほっ！ けほっ！」

みく 220 「はあはあはあはあ……

おまんこ……なめなめするほど苦しかったですか？♡」

ゆうな 221 「……はあ……はあ……臭くさすぎて……

はあ……耐たえれなかっただけ、だから」

みく 222 「はあ……はあ……じゃあもうやめます？

次くらいで……からだ……こわれますよ♡」

ゆうな 223 「はあ……はあ……なめんな……

どっちかが潰れるまで……やるぞ……」

みく

224 「はあはあ……望むところです……はあ……はあ」
//トラック 04 終

///トラック 05

一発ずつビンタした後、同時におまんこに指を挿入する。

(ゆうな..左耳5cm、みく..右耳5cm)

225 「はあ……はあ、立ちなさいよ」

226 「ふう……ふう……潰す！」

//SE パチン！（ビンタ音）

↑※みく..ビンタされて口から唾液を飛ばすように

227 「んぷっ！」

//SE パチン！（ビンタ音）

↑※ゆうな..ビンタされて口から唾液を飛ばすように

228 「ふふっ！」

229 「逝きなさいっ！」

230 「喰^くらえよっ！」

231 「んああああああッ！ おおッ！ ぉおッ！

おまんこの中が！ オツッ！ オオツ！

握^{にぎ}られてりゅ……オオツ！」

232 「オオオッ！ ンオツ！ オホッ！ ぐりぐり……

すりゆなあ……オオツ！ オツホオオオ！」

//SE ばたっ！（倒れる音）

二人は手マンをしたまま共倒れるが、攻撃を止めない。

両者そのまま手マンを継続する。

(ゆうな..左耳0 c m、みく..右耳0 c m)

みく
233 「しょ、しょうぶ……!」

ゆうな
234 「う、うけてやるよ……! あああんツ!」

みく
235 「んあああッ! んああアッ! おまんこお!

ぶち壊してあげますう! はああ! はあ! んおツ!

手マンしようぶは……負けなない! んほおおっ!」

ゆうな
236 「おおッ! んほおおっ! 我慢^{がまんくら}比べなら……ンオツ!

まけねええ……んおおおおっ♡ おおっ! おらあッ!

膣^{ちつ}、握られて気持ちいいんだろ!? んおおっ! んおっ!

さっさと! 潮^{しお}ぶちまけろおおッ! んおおおッ!」

みく
237 「んあああッ! んああッ! グリグリされて、

きもちよくて泣いてるくせに! みくの方が!

っ……つよいいーッ! おほおおおーーッ!」

238 「いいから! んほおおお! ぎぶあっぷしろ!

おおおおお! 私はぜったい……んおおっ! おおうツ!

ぎぶしねえから! おまえのおまんこになんか……

負けるかあ……！ んおおっ！ おおっ！

みく 239 「つよがりばかり！ おまた……ぐじゅぐじゅのくせに」

ゆうな 240 「お前こそ！ ダムが壊れたみたいに……

愛液あいえきが流ながれてるぞ。げんかいだろお……ほらあ！」

みく 241 「こんな……おおおお！ こんな程度ていどの手マンで……

勝てると思わないで！ はあはあはあ！ んおおっ！」

ゆうな 242 「ああッ♡ あああーッ！♡ んおおおッ♡

ふおおおおおッ♡」

みく 243 「手え……止まってますよ！ もう、がまんしないで！」

ゆうな 244 「んおおおッ♡ オッ♡ オッ♡ オッ♡

逝くもんかあっ……ふおおおおおッ♡」

みく 245 「イけ、イけイけイけイけえッ！ 逝ってええええ！」

ゆうな 246 「んっくうーッ♡ んあああアッ」

ゆうなは絶頂を迎える前に、みくの乳房にしゃぶりつく

←※ゆうな…激しいキス音

ゆうな 247 「むちゅっ ちゅぱ んちゅぱ んじゅ ちゅうう」

みく 248 「はああああああ！♡ ちくび……ッ！ ちくびい！

吸うなああッ♡ はんそくううう♡ はあああ♡」

ゆうな

²⁴⁹「んちゅっ！ んちゅ！ んちゅ！ ちゅぱ
ちゅるうううるるるッ！」

ゆうな

²⁵⁰（おまえが……い……け……え……！）

反撃でみくも、ゆうなの乳首をしゃぶりつく

みく

²⁵¹「あふうううっ♡ あへえ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡
おがえじいいいい！」

←※みく…激しいキス音

みく

²⁵²「んちゅう！ んちゅうう！ ちゅぱ！ じゅぱ！
んちゅ！ ちゅばっ！ むちゅううううう！

むちゅう！ むちゅう！ んじゅうううううう！」

ゆうな

²⁵³「んぶうッ！ ぶじゅう！ んちゅうううう！」

はあっ♡ むちゅううう！ んちゅううう！ むちゅ！」

じゅるるるるるるるるるるーッ！」

みく

²⁵⁴（逝けえ……逝けえ……逝けえ……逝け逝け逝け）

ゆうな

²⁵⁵（逝けえ……はやく逝けえ……逝けッ逝けえッ！）

お互いが快感で乳首を口から話して悶える。

←※みく・ゆうな…軽いオホ声をあげて耐えるように

みく

²⁵⁶「んじゅうう!? オッ♡ オッ♡ オオッ♡ オオッ♡

ゆうな

イグッ！ いぐいぐいグッ！ いぐうーッ！」

²⁵⁷「んちゅう!? んおおッ♡ おおっほお♡ いぐッ！
イグッ！ いっちゃううう！」

思わず両者同時にギブアップを宣言するが、

お互いが手マンをやめず、同時絶頂。

みく

²⁵⁸「ぎぶあっぷうう！ ぎぶあっぷうう！

こうさんしますうううう！」

ゆうな

²⁵⁹「あああああ！ ぎぶぎぶぎぶ！ ぎぶううう！

ギブつつつてんだろおおお！」

みく

²⁶⁰「いやあああああーっ！(絶頂)」

ゆうな

²⁶¹「んおっほおおーっ！(絶頂)」

//SEぶゅうううう！(潮を噴く音)

絶頂から少しの間は手が止まるものの、

また手マン合戦を開始する。

お互い自分からやめようとしなない。

みく

²⁶²「あへえ♡ あ…あは♡ んへえ♡ んえ♡」

ゆうな

²⁶³「んあっ♡ あは♡ おおん♡ あへえ♡」

←※みく…泣きながら喘ぐように

みく

264 「はあ♡ はあ♡ つん!? んおおおっ! おッ! オッ!
ぎぶう! ぎぶう! 逝った! 逝ったってえ!」

←※ゆうな…以後女性らしく喘ぐように

ゆうな

265 「ふう♡ ふうう♡ オオッ! オオオッ! ぎぶ!
おまええ! ぎぶしただろ! おおおお! おおおお!
逝ってる! 逝ってるからあ……やめてええええ!」

みく

266 「ああああ♡ おおおお! おおお! そっちが
さきに……やめなさいよお! おおッ! んあッ!」

ゆうな

267 「あっ♡ ふうう♡ んんん♡ いやだああ……
おまえが……あひいい♡ やめたら、指^{ゆび}、抜^ぬいてやる」

みく

268 「そっちがさきよお! んあああああッ!」

ゆうな

269 「アッ♡ アッ♡ アッ♡ ぎぶしたくせにい!
は、早くう……やめろお……おまんこ……
こわれりゆううーッ!」

みく

両者意地になって自分からやめようとはしない。
270 「あああッ! あついの……またのぼってきた

ゆうな

逝くッ! 逝くッ! さつきいったのにい!」
271 「やめろってえ! おかしくなりゆう!

みく
「おおッ！ おおッ！ おおおーッ！（絶頂）」
272 「こわれたあ！ おまんこ壊れたからあ！ こんなのが
まんできるわけ……ううう……♡

ゆうな
「ああッ！ ああッ！ あへえええーッ！（絶頂）」
//SE ふしゃああああ！（潮を噴く音）
273 「あ♡ あう♡ あふ♡ あふ♡

ひきわけえ……ひきわけでいいから……

ゆび……ぬけえ……」

みく
274 「は♡ は♡ わかりました……

どうじ……どうじなら……ぬきますよ……」

ゆうな
275 「わ……わかった……おまえも……ゆつくり……ぬけえ」

みく
276 「は♡ は♡ そっちこそ……もう、いじるなあ♡」
//SE ぬちゅ……（ゆうなのまんこから指が抜かれる音）

ゆうな
277 「んああッ!! はーッ! はーッ!」

//SE ぬちゅ……（みくのまんこから指が抜かれる音）

みく
278 「ん……はあ……はあうう!!

……はあ……くっ……んん……♡」

← ※ゆうな・みく..泣きながら

ゆうな
279 「はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……

みく

んっ!? んう……余韻^{よいん}で……はううう! (軽い絶頂)

//SEふしゃ! (愛液が漏れる音)

²⁸⁰「はあ……はあ……はあ……はあ……はううう!

ま、まだ……のこってるう……んああ! (軽い絶頂)

//SEふしゃ! (愛液が漏れる音)

ゆうな

²⁸¹「ああ……ひい♡ ……ひい……♡ ……ひい♡」

みく

²⁸²「あああう……♡ ん……♡ ……あへ♡ ……ああ♡」

//トラック 05 終

///トラック 06

しばらくたって、ゆうなとみくが動けるようになる。

(ゆうな…左耳20cm、みく…右耳20cm)

←※ゆうな・みく…ヘトヘトとなイメージ

283 「はあ……はあ……はあ……はあ……ん……

おい……まだ、私は……やれるぞ……はあ……はあ

284 「はあ……はあ……とうぜん、みくもやれますよ♡」

285 「おまんこ拭き終わったら、はあはあ……かかってこいよ」

286 「はあはあ……ふふ、いい感じにあったまりました♡

あなたも、汚きたないおまんこ、しっかり拭ふいてね……」

287 「せんせー。みてなよ……」

288 「んふ、おんなの潰し合いは……」

289 「ここからが一番醜みにくくて面白おもしろいからなあ……

……おい、乳比ちくらべしようか」

290 「望むところです」

密着して胸を合わせる。

(ゆうな…左耳0cm、みく…右耳0cm)

291 「んっ♡」

ゆうな

292 「んんっ♡」

みく

293 「みくの方がでかいね」

ゆうな

294 「あ？ 潰れてるぞ、貧乳」
ひんにゅう

抱きしめ合って潰し合う。

みく

295 「ふふふ……せーのっ」

ゆうな

296 「せーの！」

←※ゆうな・みく…精一杯力を込めて

ゆうな

297 「んはあああっ！ ツ！ んんん！ んのおおお！

ぶつつぶれろお！」

みく

298 「んあああーッ！ はあっ！ はあっ！

絶対負けないからあ！ つつくううううう！」

ゆうな

299 「んああああーッ！ つぶす！ つぶす！

くらえよおおおおッ！」

お互いが抱き潰し合って、苦しさに唾液を漏らす

みく

300 「おおおお……ッ！ くはあああああッ！ ぐふ……

んべええ……うええ……」

ゆうな

301 「あはは、酸欠さんけつで気分わるいだろ？ はあはあ！

ギブしても、いいんだぜ！」

みく 302 「ぐうう……んっ……くうう……

それは……おたがい、さまよ！」

ゆうな 303 「んっ！ んっ！ んっ！ うええ……！ ぐぶ……！

うえええ……！ んっくううう……！」

ゆうな 304 「んんッ！ んおおおー……ッ！ あ……ああ……」

みく 305 「うええ……んああー……ッ！ あ……あ……」

みく 306 「っう！ うえええええ！」

ゆうな 307 「たたき……潰して……やるう……」

みく 308 「ちよっ……んうっ！ やめ……っくううう！」

ゆうながみくを押し倒す。おっぱいで呼吸を塞ぎにいくが、

乳房を掴まれて阻止される。

みく 309 「うええええーッ！ んはああッ！ んはああッ！

んぐううううううううう……ッ！」

ゆうな 310 「くた……ばれえ……乳のしたで……逝けよ……」

←※みく…苦しそうに

みく 311 「んんぶ！ ぶぶう！ ぶぐうう！ ぶぐうう……ッ！」

ゆうな 312 「んっ！ いたあ！ ちくびい！ もげるううう！

ひっぱるなあああ！ んああああッ！」

みく³¹³「ぶはああああっ！　ぶはああああっ！　んぐううう！」

うつ伏せになったみくの頭の上にゆうなが座っている。

（ゆうな…正面30cm、みく…背後0cm）

ゆうな³¹⁴「今さら……乳を掴まれたくらいで……」

逃がすと……思うなよ……

みく「おらッ……言っただろ？　尻もでかいって」

みく³¹⁵「んんッ……どいてえ……！」

ゆうな³¹⁶「ふんッ……お前が逝ったらなあ！　おらあ！」

プロレスの逆エビ固めのように、

みくの背中を大きくのけ反らせる。

みく³¹⁷「んおおおー……ーッ!!　あぐッ！　んはあッ！」

ゆうな³¹⁸「あはは！　逆エビっていうんだぜ……このわざ……」

みく「おおー！　身体柔らかいじゃん♡　えげつない角度……」

←※みく…以後泣きながら

みく³¹⁹「あああッ！　アッ！　アッ！　アッ！」

ゆうな³²⁰「せんせー。タオル投げないとやばいぜ♡」

みく³²¹「いやだあ！　ぜったいとめないでええ！　んおおお！」

ゆうなは、みくの股間にしゃぶりつく。

ゆうな

322 「だよなあ……でも、これならどうだあ？

ぶぐじゅううううう！ むちゅうう！ むちゅううう！

ちゅぱ ちゅぱ ちゅぱ ちゅぱっ！」

みく

323 「おおおーッ！ オッ♡ オッ♡ オッ♡

おまんこお……！ いやあ♡ やめてええ……♡」

ゆうな

324 「ぶじゅう！ ぶじゅう！ ギブするか？ はあ！ はあ！」

みく

325 「んほおおーッ♡ のー……のお……♡ んおっ♡」

ゆうな

326 「へへ……こんな格好で、屈辱くつじよくだろ？でも……

もうげんかいだろ………ぶじゅ！ ぶじゅるるっ！」

みく

327 「おおおーッ！ おおーッ♡ おおーッ♡ おおーッ♡」

ゆうな

328 「ほらあ……ぶちまけろよお……んちゅッ♡ んじゅッ♡

んじゅッ♡ んじゅッ♡ 噴水ふんすいみたい……

ふきあげろよ！ 雑魚ざこまんこ！ むじゅうう！

んじゅッ♡ んじゅっッ♡」

←※みく…絶頂に向かって下品に悶えるように

みく

329 「おおおお♡ おお♡ 舌したがあ……んほ♡

はいってりゅう♡ おお♡ おお……♡ ああ♡

クリトリスも……しゅわれて……♡ おお……♡

おおお……♡ 逝っちゃおう……♡

ああ♡ ぎぶ♡ ぎぶ♡ あああ！ ぎぶぎぶ！

まいったあ……♡ まいったあ……♡

←※ゆうな…勢いよく吸い上げるような音

³³⁰「じゅるるるう！ じゅりゅうう！」

³³¹「んっほおお♡ んほおお……♡（絶頂）」

//SEぶびゅうううううう！（潮を噴きだす音）

みくが愛液を大量に噴射し、ゆうなの顔にかかる

³³²「ぶべええっ！ はあ！ はあ！ はあ！ 顔に……

うえっ！ ペっ！」

ゆうながみくを解放した瞬間、みくが背後から反撃する

（ゆうな…正面5cm）

³³³「これで……はあ！ はあ！ はあ！ 3勝2敗……
さんしょうにはい

んああっ！ ちよっ……まで……まだ……

じゅんびが……おおおッ……ッ！」

（ゆうな…左耳ささやき、みく…右耳ささやき）

³³⁴「はあはあはあ！ はあはあはあ！ はあはあはあ！」

←※ゆうな…以後泣きながら。

ゆうな

335 「くそお……手マンばっか……んおおおおお！」

はあはあはあ……んうううう！」

みく

336 「あなたこそ……たいりよく……げんかいみたいね

はあはあはあ！ 返^{かえ}せてないわよ！」

ゆうな

337 「んおおおおー……ッ！ せ、せんせい、

あと何分^{なんぶん}だ？ んおおお！ んおお！ さ、3ふん……だな」

みく

338 「ぜったい……はあはあはあ！ 逝^しかせる……」

みくはポルチオに届く勢いで、全力で手マンを続ける

ゆうな

339 「逝^しくか……おおほおおー……ッ♡ つつくう♡」

←※ゆうな…以後女性らしく喘ぐように

ゆうな

340 「ばか、ばかばかッ！ ポルチオお……はあ♡

とどいてるう♡ んほああー……♡ はあ♡ はあ♡」

←※みく…以後必死な感じで

みく

341 「あああ……あああ……！ はあ！ はあ！ うんっ！

うんッ！ うんっ！ うんっ！ うんっ！ うんっ！ うんっ！」

ゆうな

342 「おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

んによおおおおおおおー……♡」

みく

³⁴³「しっしんしたら……どっちにしろ、まけですよ……」

こうさん……してえ……うんっ！ うんっ！ うんっ！

ゆうな

³⁴⁴「あと、2ふん……あと……、おっ♡ おっ♡ おっ♡

にふん……おおおおーっ♡ たえりゅうう♡」

みく

³⁴⁵「んっ！ んっ！ んっ！ こわれっ！ ますよっ！

うんっ！ うんっ！ うんんんんっーっ！」

ゆうな

³⁴⁶「かつっ……！ んぶ……ぶ……おう♡ ぶ……ふ……♡」

みく

³⁴⁷「こうさん……でしょ!？」

ゆうな

³⁴⁸「ん……ぶ……ぶ♡ のお……のお……」

みく

³⁴⁹「こう……さん……はあはあ！ し……てえ……はあはあ

はあはあ！ はあはあ！ はあはあ！」

ゆうな

³⁵⁰「んおお♡ んっふああ♡ んっ♡ ぶ♡

いっふん……あと、いっふ…… うう♡

んぶ♡ んーっーっ♡ のほお♡

たえりゅ……♡ この……くら……いい……

あひいーっーっーっ♡ (絶頂) うあう♡

ぎっふ！ ぎふ！ むりい！ むりむり！

ぎぶう！ ぎぶう！ あああ♡ ぎぶう！ ぎぶう♡

みく

ゆうな

(ゆうな…左耳10cm、みく…右耳10cm)

二人はぐったりと重なって倒れ込む

³⁵¹「あああ……やったあ……！　　はあはあ……はあはあ……」

³⁵²「はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……」

く……そお……はあ……はあ……！」

//SEピピピピピピピピピピ(1時間の経過を告げる音)

//トラック06終

///トラック 07

マットに寝転んで動けないゆうなとみく。

(ゆうな..左耳10cm、みく..右耳10cm)

353 「1時間たって……はあ……はあ……ひきわけ……

この場合……どうなるんだ……はあはあ……」

354 「はあはあ……つぎ、降参こうさんした方が……負けで……
どうでしょうか？」

355 「はあはあ……ふ……よかった。痛みいた分けとか、

寒いことさむ言うかと……はあはあ……思っただぜ」

356 「ふふ……ここまできたら……はあはあ……

かんぜんけっちゃく
完全決着まで……やらないと……」

357 「ふう……ふう……気が済まねえよな……おい……
つづきやるぞ……」

ゆうなとみくが、立ち上がりぶつかり合う。

(ゆうな..左耳5cm、みく..右耳5cm)

358 「はあ……はあ……いきます……ふっ！」

359 「ふんっ！」

360 「ふおおおおお!! 子宮しやうまで……ゆびがあ……あう♡」

ゆうな

361 「んはああーっ!! あなるがあ……ごほおお！」

ゆうな

362 「あっ! あっ! あっ! あああ! 乳首ちくびい!

もげるうう! ひっぱるなってえええ!

みく

363 「そっちこそおおおおお! おっぱいが……

もげちゃうううう!」

局部を攻めあいながら、二人が転倒する。

///SEばたん!(マットに倒れる音)

(ゆうな…左耳0cm、みく…右耳0cm)

ゆうな

364 「んあっ♡ んああ……♡ んあ……♡」

みく

365 「おおっ♡……おおっ……♡おおっ……♡」

みくがゆうなに馬乗りになって、乳首を握りつぶすように

刺激を与える

←※ゆうな・みく…以後泣きながら感じているように

ゆうな

366 「んあっ♡ ふああ♡ んほほおおお♡」

みく

367 「はあ♡ はあ♡ 乳首ちくびつぶし♡……もだえな……さ……

んへええええええ♡」

ゆうなが下から乳首を握り返す

ゆうな

368 「によほおおおおお♡ おかしい♡」

369 「んあっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ んおおおお♡

ゆうな

370 「はああ♡ はああ♡ はああ♡ はあーッ♡」

371 「んふう♡ んふう♡ おかえしの、おかえしい♡」

ゆうな

372 「うぶぐううう！ んんっ♡ んんっ♡ んんっ♡」

373 「はあはあはあ♡
おまんこがため……♡

それと……手マンツ……♡！
んんー……♡！」

ゆうな

374 「んんんッ！ んんんッー！♡♡♡」

みく

375 「はあはあはあっ♡ あああ♡ あああ♡」

ゆうな

「むちゅううう！　ぶちゅううう！　ぶちゅううう！」

んじゅるるるるるるううう！」

37 「はあはあはあ♡ あぐぐぐう♡ あぐうううう♡

くんにいーっ！
きもちいいい♡」

ゆうな

378 「んー♡ んじゅ！ んじゅ！

ぶへえええーっツ♡
〔絶頂〕

みく

379 「はっ♡ はっ♡ はっ♡ はああっ♡ おおおおッ♡

いぐうううううー♡♡♡♡♡（絶頂）

／＼ばたん！（みくがゆうなの上から落ちる音）

ゆうなの顔の上から落ちるみく。

ゆうな

³⁸⁰「あああ……♡ はあ♡ ふうう♡ ふうう♡ おうう♡」

みく

³⁸¹「んあああ♡ んあああ♡ んあっ……」

みく

³⁸²（からだが……ああ……うごいてえ……）

ゆうなが体を動かして、おっぱいをみくの顔に押し付ける

（ゆうな…正面0cm、みく…背後0cm）

←※ゆうな…必死さを前面に出して

←※みく…水に溺れてもがいているように

ゆうな

³⁸³「んんんッ！ んおおおおッ！」

みく

³⁸⁴「くあっ！ んんっ！ んぐううううう！！

んぐううううう！！ んぐううううう！！」

ゆうな

³⁸⁵「ああ……ああ……はあ……ぎぶしろお……私の……

ちちの……勝ちだあ……！！」

みく

³⁸⁶「ぶびゅうううう！！ ぶびゅううううう！！ ぶぶうううう！！」

ゆうな

³⁸⁷「もう……くうき……すわせねえ……ああ……はあ……」

みく

³⁸⁸「ぐぶううう！！ おうぶううう！！ んんんん！！」

ゆうな

389 「ぜえ……ぜえ……ぎぶしたいなら、おしっこ、だせ」

みく

390 「んぐう!? んんッ!! んんッ!!」

ゆうな

391 「それで……完全……けっちゃく……だあ……」

みく

392 「んんッ!! んんッ!! んんッ!! んんッ!!」

ゆうな

393 「ぜったいにい……かえさせる……もんかあ……」

みく

394 「んんッ!! んんッ!! んんッ!! んんッ!!」

ゆうな

395 「おしっこお……!だせええ……!はあ……はあ……」

みく

396 「ゝんんッ!! ゝんんッ!! ゞんんッ!!」

ゝんんッ!! んんんんんーッ!!」

ゆうな

397 「くうううっ! おさえてる……のにいいいい!!」

みくがゆうなの体をひっくり返し、

逆におっぱいを押し付ける。

(ゆうな…背後0cm、みく…正面0cm)

←※みく…水に溺れてもがいているように。

水から顔をあげたみたいに苦しそうに

みく

398 「ぶはああああッ!! はああああッ!

はああああッ! はああ!! はああッ!!

はああ!! はあ!!」

←※ゆうな…以後水に溺れてもがいているように。

○)の中は心の声のため、しっかり発音してOK

ゆうな 399 「へぶううう!! んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!!」

みく 400 「はああ!! はああッ!! はああ!! おしっこ!!」

ゆうな 401 「んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!!」

みく 402 「はああ!! はああッ!! みくの!! おっぱいの!!

はああ!! はああッ!! 勝ちです!!」

ゆうな 403 「んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!!」

ゆうな 404 (ブリッジ……で……かえすう……んあああッ!)

///SEばたっ!(ゆうなの体が崩れる音)

みく 405 「はああ!! はああッ!! はああ!! もうぜったい!!

おっぱいから!! はあああ!! はなさないいい!!」

ゆうな 406 「んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!!」

407 (しぬうううううッ!! しぬううううううッ!!)

みく 408 「はああ!! はああッ!! みくの勝ちいいーッ!!

みくのおっぱいの! 勝ちなんだからあ!」

ゆうな 409 「んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!! んんンッ!!」

410 (じぬううう!! じぬ!! じぬ!! しんじやうううう!!)

///SEばんばんばん! (みくの背中を叩く音)

ゆうな

⁴¹⁸「……あう……………あ……………ぶ……………う……………」

(みく..右耳ささやき)

みく

⁴¹⁹「せーんせい♡」

←※みく..可愛らしく

みく

⁴²⁰「みくのおっぱいの勝ちでーす♡」

///トラック 07 終